

平成 29 年 9 月
府民文化常任委員会

(大阪ミュージアム 地域の魅力発信の強化について)

Q 1 府域の魅力を発掘、発信などを目的に平成 20 年度から取り組まれている大阪ミュージアムについて尋ねる。

私の地元大東市にも野崎観音や戦国時代には三好長慶の居城となり、中世の山城としては日本最大級と言われている飯盛城があった飯盛山などが大阪ミュージアムの登録物となっており、このほか府民や市町村から推薦された登録物が現在では 1286 件となっていると聞いている。このように府域には数多くの地域魅力が存在しているが、地元の人には知られていても、多くの府民が知らない魅力もまだまだ多いと思う。そうした魅力をより多くの府民に知ってもらい、大阪に愛着を持ってもらうことが大切である。また、多くの人を訪れることでその地元の人達が我がまちに誇りを感じることにもつながるのだと思う。

先日、発行された「とっておき O S A K A 周遊ガイド」にも、府内各エリアの魅力的なスポットが、それぞれテーマに応じたコースとして紹介されており、大阪だけでなく関西一円に 157 万部も配布されたと聞いている。

府域の魅力を広く発信していくためには、様々な課題もあると思う。また、こうした情報発信を行う上においても、地域の魅力を一番よく知っている市町村との連携は欠かせないと考える。今回の地域魅力発信の取組みにあたり、どのような地元との連携や工夫を行ったのか伺う。

(答弁：魅力づくり推進課長)

A 1

- 大阪ミュージアムの取組みは、『「明るく」「楽しく」「わくわく」するまち・大阪』を実現するため、まち全体を「ミュージアム」に見立て、府内各地の魅力的な地域資源を発掘・再発見し、磨き・際立たせ、結びつけることにより、大阪のまちの魅力を内外に発信するという理念の下で、市町村はもとより、地元の皆さんが主体的に関わっていただきながら、まちの魅力づくりの取組みを進めてきたところ。
- 特に、地域の魅力をより多くの人々に知ってもらい、行ってみたいと思ってもらうためには、広域的な情報発信が必要不可欠であり、そうした部分を府がサポートするのも、大阪ミュージアムを推進する上での役割である。
- 今回の周遊ガイドの発行にあたっては、市町村の意見もお伺いしながら、地域の特性を活かしたテーマやスポットを選定するとともに、施設

や地元の方々にも取材にご協力いただきながら、大阪周遊ガイドのナビゲーターとしてご協力いただいたタレントが実際に現地を訪れ、体験した写真の掲載や、地元が伝えたい内容でわかりやすい編集を行っている。

- ただ、どうすれば実際に訪れてもらうことができるかが、課題であると認識。今回は、「行って良かった総選挙」と題して、情報誌に掲載のスポットに行って、感想や写真を投稿していただくと抽選で100名に素敵なプレゼントが当たる懸賞企画や、「新春ご利益ウォーク」というネーミングでパワースポットなどを巡りながら楽しんでもらえる企画などを盛り込んだ。
- 今回の取組みの成果を踏まえ、引き続き市町村と連携しながら、広域的な情報発信に努めてまいる。

平成 29 年 9 月
府民文化常任委員会

(大阪ミュージアム 民間との連携やノウハウの活用)

Q 2 ウォーキングを開催する北河内コースの御領の水路は、江戸時代の稲作において家と他を行き来する田舟（たぶね）の風景の名残が残る魅力的なスポット。多くの人に、こういった場所を知り、訪れてもらいたい。

今回の地域魅力発信事業での企画は、実際に足を運ぶきっかけとしては良い取組みだと考えるが、より多くの人に参加してもらえよう、引き続きPRなど積極的に働きかけて欲しい。

また、大阪ミュージアム事業の推進にあたっては、行政の視点だけでなく、民間ノウハウの活用や民間企業等との連携が重要だと考えるが、どのように取り組んでいるのか尋ねる。

(答弁：魅力づくり推進課長)

A 2

- 大阪ミュージアムの民間との連携については、事業開始以来、様々な形で取組みを行っている。
- 例えば、イオンリテール株式会社との包括提携に基づく公民連携の取組みとして、平成22年度より大阪ミュージアムワオンカードを発行していただき、本カードの利用金額に応じて、大阪ミュージアム基金にご寄附いただいている。それに加えて、府内の魅力を巡るまち歩きツアーなども共催で実施しており、今年は、高槻市、茨木市のボランティア協会とも連携し、ガイドの解説を聞きながら大阪ミュージアム登録物である古墳や社寺などの歴史的資源、酒蔵や名刹など風情ある寺内町を楽しんでいただける「高槻・茨木 ウォーキングツアー」を11月3日に開催する。
- また、株式会社ジュピターテレコムと連携し、府内各地のイルミネーションの写真を撮影して応募してもらおうイルミネーションフォトコンテストを平成23年度から毎年冬に開催し、昨年度は1,000件を超える応募があった。今年もイルミネーションフォトコンテストを、大阪・光の饗宴のスタートに合わせ、11月12日から開催する予定。
- 今後とも大阪ミュージアムの推進にあたっては、こうした民間との連携を継続、発展させていくことにより、より多くのプレーヤーの参画と協力を得ながら、府域の魅力発信、回遊促進に努めてまいる。